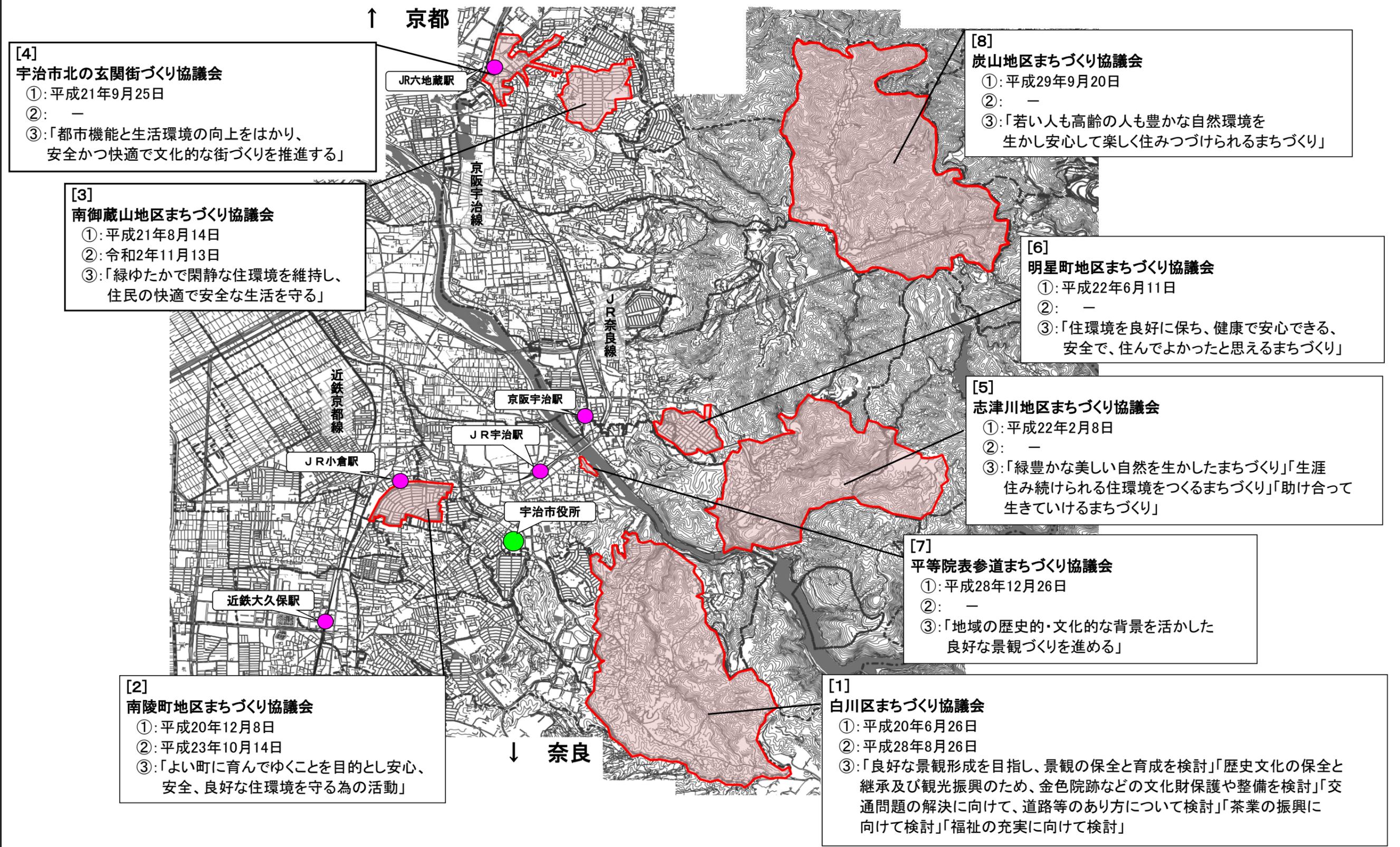


令和6年度地区まちづくり協議会年間活動報告

地区まちづくり協議会一覧

凡例
協議会名称
①: 協議会認定日
②: 計画認定日
③: 活動テーマ(認定申請書より)



[1] 白川区まちづくり協議会

1 主な活動内容

(1) 良好な景観形成を目指し、景観の保全と育成を検討

① まちづくりイベントの開催

区外の方には豊かな自然と歴史的な文化財が残る白川区を知っていただくこと、区内の方は住民同士の交流を図ることを目的に、まちづくりイベント「ひかりのまつり」を、白山神社、白川児童遊園および白川集会所で実施した。神社へのフラダンスの奉納や宇治田楽の実演、市民バンドグループによる演奏、マルシェの出店などを行った。



② 防災出前講座

宇治市危機管理室の防災出前講座をまちづくり協議会の委員全員で受講した。今後、講習内容を基に区民の方に防災意識の向上等を働きかけ、防災活動を行う予定。

(2) その他の活動

① まちづくりに関する会議（役員会含む）

8回

2 活動について課題と思われること、その解決に向けて取り組んでいることなど

- (1) 協議会活動への参加者が固定されている
- (2) 協議会活動の後継者不足

これまで協議会は、委員を区役員5人と各団体の長5人で構成し、1年度ごとに入れ替わっていた。令和6度からは委員10人を固定し、その10人を中心に区役員のサポートを受けながら活動に取り組んでいる。また、委員間ではLINEで情報を共有し、意見を取り入れながら進めているので、スムーズな活動ができるようになってきた。しかし、少子高齢化に伴い、後継者不足が今後の課題となっている。

3 令和7年度活動予定

- (1) ひかりのまつりの実施
- (2) 防災意識向上のため、防災運動会の実施

[2] 南陵町地区まちづくり協議会

1 主な活動内容

(1) 安心、安全、良好な住環境を守る為の活動

① 安心で安全な住みよい町、魅力ある町を実現するための活動（地区まちづくり計画より）

- ・南陵町全13区の居住環境等実態調査と報告（2回）
- ・家屋解体・新築工事の連絡・協定書締結・回覧（23回）
- ・京都新聞の取材対応（1回）
- ・教会建替えについて宇治福音自由教会と土地利用等に関する協定書の締結

2024年6月20日

南陵町地区の住環境 南陵町地区外住権者の住環境

南陵町地区まちづくり協議会
同上 住環境管理委員会

南陵町地区内「居住環境等実態調査結果」について（ご報告）

平素は「南陵町地区まちづくり協議会」の活動にご協力いただき感謝申し上げます。
さて、本協議会は今年度第1回目の南陵町地区内「居住環境等実態調査」を5月7日～21日に実施しました。その調査結果の主なものは下表のとおりです。
※昨年11月の調査から半年間の実行は、

○空き家総数：4棟 ○家屋解体及び建築申請済み：4棟 ○空き地：増減なし
○空き家：増減なし ○駐車場：増減なし

1. 空き家の「長年の固定資産税滞納」など、5月21日に隣接住民、南陵まち協役員と立ち会いの宇治市空家対策委員2名が現場視察を実施。その結果、空き家対策委員が今までより強力に空き家所有者（以下、所有者）に再三働きかけた結果、所有者は「予定業者相見限り中！」との意思を約1か月半繰り延していましたが、8月9日に宇治市空家対策委員から所有者が「専業主業及職を失った」との理由が協議会へありました。予定業者は「伐倒はしないが先に前倒産なので...見守っていきたい!」としています。

南陵町地区内別の現況 2024年6月1日現在

区	居住者 区別数	建築中 及び解体 申請済み	居住者外区域の現況			区画総数
			空き地	空き家	駐車場	
1区	40		4	1	4.5	
2区	68		4	1	7.5	
3区	66	1	5		7.2	
4区	57	1		1	5.9	
5区	77	1	3	2	8.3	
6区	85	3	3	2	9.4	
7区	38	2	1	7	4.9	
8区	47	1	2		5.0	
9区	49	1	3	1	5.4	
10区	78	1	7	4(3)	9.0	
11区	93	1	10		10.4	
12区	72	2	6		8.0	
13区	57(42)	1	2		4.1	
計	807(620)	11	7	57	122(11)	89.4

① 居住者区画数は、建築中3棟及び建築申請の受理3棟は含まれていません。
② 空き家総数については、増減が4箇所分かれていますが協議会3区です。
③ 13区の居住者区画数(42)については集合住宅に10世帯の5軒の数を含まれています。
④ 空き家、空き家の管理不備等は2区のみでした。
*空き地：3区(11区画)
*空き家：3区(1軒)、8区(1軒)、10区(1軒)、8月解体済(新築)、11区(1軒)

協定書

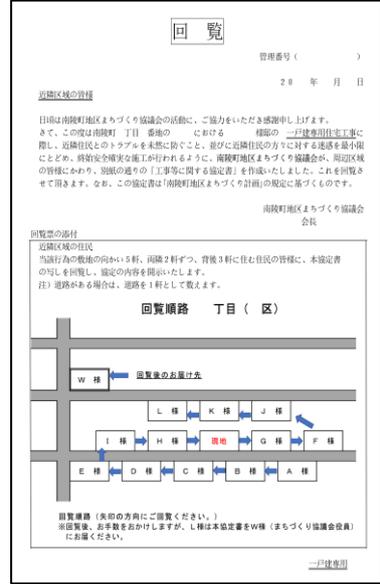
(資料2 一戸建専用住宅)

甲： 南陵町地区まちづくり協議会

乙： 所有者の氏名（法人の場合は会社名）

丙： 住宅建設会社名

締結日 20 年 月 日



② 自治会と連携した活動

- ・町内の防災・防犯を目的とした夜回り（20回）
- ・市へ要望書の提出（1回）
- ・教会建替えに関する宇治福音自由教会の開発説明会の実施（1回）

③ 宇治市住宅課空き家対策係との連絡・現場立会い

(2) その他の活動

① まちづくりに関する会議（役員会含む）

3 回

② 南陵町自治会への会計報告

1 回

2 活動について課題と思われること、その解決に向けて取り組んでいることなど

(1) 協議会参加者の年齢構成に偏りがみられる

(2) 協議会活動の後継者不足

自治会等の地域活動に参加された経験者や関心のある方への声掛けに努めているが、定年の延長・年金給付年齢の引き上げ等により思うように進まない。

(3) 空き家・空地対策

手入れがなされていないと思われる空き家については、宇治市住宅課空き家対策係を通じて持ち主の協力を得られるように努めている。また、2023年12月に空き家対策特別措置法が改正、施行されたものの、ハードルはまだ高い。

3 令和7年度活動予定

(1) まちづくり協議会で自主勉強会

(2) 自治会と連携して防災・防犯を目的とした夜回り

[3] 南御蔵山地区まちづくり協議会

1 主な活動内容

(1) 緑ゆたかで閑静な住環境を維持し、住民の快適で安全な生活を守ることを目標としたまちづくりの実現に向けた活動

① まちづくり懇話会の開催

年4回開催。第1回から第3回までは、前半30分はピアノ、ギターの伴奏で合唱し和やかな雰囲気を作り、後半の1時間30分は街のこと、生活のことを忌憚なく話し合った。これからの施策や話しあうテーマを掘り起こすことができる貴重な機会となった。第4回では、御蔵山が住宅街になる前からある宝寿寺（御蔵山聖天）の住職の方に街の歴史を語っていただいた。



② 自治会との連携

就労支援施設建設に関する説明会や歩道検証を自治会と共同で行ったことで、自治会と協議会の信頼関係を深めることができた。

(2) その他の活動

① まちづくりに関する会議（役員会含む）

18回

2 活動について課題と思われること、その解決に向けて取り組んでいることなど

- (1) 協議会の活動への参加者が固定されている
- (2) 協議会活動への参加者が少ない
- (3) 協議会活動に無関心な人が多い
- (4) 協議会参加者の年齢構成に偏りが見られる
- (5) 協議会活動の後継者不足

自治会の中での協議会の位置づけを明確にし、協議会の活動が自治会活動と理解されるよう、自治会の規則や協議会の規約の改定も含め協議をしていく。
また、自治会会員への協議会入会の勧誘や役員就任への働きかけを行う。

3 令和7年度活動予定

- (1) まちづくり懇話会の実施
- (2) 自治会内での協議会の位置づけについての協議

[4] 宇治市北の玄関街づくり協議会

1 主な活動内容

- (1) 都市機能と生活環境の向上をはかり、安全かつ快適で文化的な街づくりを推進するための活動

① 六地蔵サポート道路開通

これまで20数年、市に要望していたサポート道路が完成に至り、令和6年11月30日に完成式典が行われた。



- (2) その他の活動

① まちづくりに関する会議（役員会含む）

6回

2 活動について課題と思われること、その解決に向けて取り組んでいることなど

- (1) 協議会活動への参加者が固定されている
- (2) 協議会参加者の年齢構成に偏りがみられる
- (3) 協議会活動の後継者不足
- (4) 活動区域内の活性化について

区域内での大きな事業であるサポート道路の整備とJR六地蔵駅の改修工事が完成した。これらの整備効果も活かし、より発展した街にするにはどうすればよいか課題である。そのために、新たにできた大規模マンションの住民をうまく巻き込むことで、区域内にある2つの商店街の活性化等の方策を考える必要がある。

3 令和7年度活動予定

- (1) 役員会議の実施
- (2) 人と防災未来センターへの視察

[5] 志津川地区まちづくり協議会

1 主な活動内容

(1) 緑豊かな美しい自然を生かしたまちづくりを進めるために行った活動

① 花野菜いっぱい運動の推進

淀苗玉ねぎ苗などを配布するなど、花野菜いっぱい運動の取り組みを進めた。

② 桜苗木の植栽の取り組みに協議会も協力して植栽を実施

③ 志津川福祉の園で志津川市（いち）の開催

協議会も開催に協力。多くの区民、市民が参加された。

(2) 助け合って生きていけるまちづくりを進めるために行った活動

① 第6回写真展（志津川カフェ）

87点の出展があった。豪雨災害を振り返るため当時の写真も展示した。

② まち協ニュースの発行

今年度は9号発行。まちづくりに欠かせない全区民の情報の共有のため、まち協の取り組みをはじめ区内の出来事を掲載している。



(3) その他の活動

① まちづくりに関する会議

3回

2 活動について課題と思われること、その解決に向けて取り組んでいることなど

(1) コロナ禍でもみんなで考え、判断して進めることの重要性の再認識

協議会の取り組みを決める会議には、役員だけでなく誰でも参加してもらい、意見・アイデアを出してもらって進めるようにしている。

3 令和7年度活動予定

(1) まち協ニュースの発行

(2) 協議会活動への女性や若い人の参加、協議会の役員体制の確立

[6] 明星町地区まちづくり協議会

1 主な活動内容

- (1) 住環境を良好に保ち、健康で安心できる、安全で住んでよかったと思えるまちづくりの実現に向けて行った活動

① 自治会との連携

自治会と共催で、危機管理室職員を講師に招き、避難所開設訓練を実施した。

② まちづくりフェスタ・秋まつり

まちづくりフェスタ・秋まつりを開催。ハロウィンにちなみ約100名のこどもに達にお菓子をプレゼントしたほか、フリーマーケットの開催、唐揚げや福祉作業所のパン等の出張販売を行った。



③ 夜間の違法駐車調査

④ 明星町路線バス運営委員会事務局業務

明星レインボウバスの収益の確保に努めた。

- (2) その他の活動

① まちづくりに関する会議（役員会含む）

12回

2 活動について課題と思われること、その解決に向けて取り組んでいることなど

- (1) 協議会の活動への参加者が固定されている
 - (2) 協議会活動に無関心な人が多い
 - (3) 協議会参加者の年齢構成に偏りがみられる
 - (4) 協議会活動の後継者不足
- [今後、活動縮小予定。]

3 令和7年度活動予定

- (1) 建築・解体工事施工時における「建築・解体工事施行にあたってのお願い」文書の提出依頼（建築主、施工業者捺印済みのもの）

[7] 平等院表参道まちづくり協議会

1 主な活動内容

- (1) 沿道の事業者・住民・行政等が協働して、地域の歴史的・文化的な背景を活かした良好な景観づくりを進める活動

① 自治会と連携して店舗毎に藤の鉢植え、蓮の鉢植えを設置 1回

平等院の藤と合わせることで、街中が藤でいっぱいになり、季節感を盛り上げた。
蓮の鉢植えも同様に、季節感と地域らしさを醸し出し一層の効果を得た。



② 自治会と連携して地蔵盆を開催 1回

- (2) その他の活動

① まちづくりに関する会議（役員会含む） 2回

2 活動について課題と思われること、その解決に向けて取り組んでいることなど

- (1) 協議会活動への参加者が固定されている
- (2) 協議会活動への参加者が少ない
- (3) 協議会活動に無関心な人が多い

協議会としての活動らしいことは行うことができなかった。しかし観光客が大幅に増加しており、通りの各々の店舗はその対応に追われてしまっている。集まって話し合いを行うことは難しいと思われるので、全ての店舗に役立つことをはじめ、そこから地域全体での連携につなげていくことが必要である。

3 令和7年度活動予定

- (1) 自治会と連携して、地蔵盆の開催
- (2) 自治会と連携して、店舗ごとに藤の鉢植え、蓮の鉢植えの設置

[8] 炭山地区まちづくり協議会

1 主な活動内容

(1) 豊かな自然環境を生かし安心して楽しく住みつづけられることを目標としたまちづくりの実現に向けて行った活動

① カフェすみやま（ふれあい部）

年20回実施。常連の方も増えてきた。地域のたまり場となっていってほしい。健康体操は、スタッフからの声掛けや車による移動支援を行い、高齢者の参加が増えてきた。

② 清掃行事（環境整備部）

12月、3月に実施。3月は、小学生の参加もあった。

③ ニュース発行（編集委員会）

炭山のことがわかるを目標に、定期的な「まち協ニュース」を発行。年10回発行。

④ 地域の要望を行政機関等へ文書で提出、行政懇談会の実施

(2) その他の活動

① まちづくりに関する会議（役員会含む）

10回

② 地域活性化・笠取第二小学校児童減少対策委員会への参加

6回

③ まちづくり勉強会

1回

2 活動について課題と思われること、その解決に向けて取り組んでいることなど

(1) 会員数と新規加入者を増やすこと

(2) 二つの専門部会（ふれあい部会、環境整備部会）の活動のさらなる改善

新規加入者は0名であった。新規会員を増やす重要性を意識し、入会を働きかけていく。また、会員を増やすことで二つの専門部会のスタッフ不足を解消し、活動を充実させていくことが必要である。

3 令和7年度活動予定

(1) カフェすみやまで役員会の報告

(2) まち協行事の計画的実施

令和6年度まちづくり活動支援について

1. うじまちパネル展

まちの魅力を再発見し、地域(うじ)に対する興味や愛着を深めてもらうことを目的に開催。

- ◆開催日： 令和6年10月28日から10月31日まで
- ◆場 所： 市役所1階市民交流ロビー
- ◆内 容： 地区まちづくり協議会活動のパネルや地域の写真、宇治市まちづくり・景観条例の内容について展示。開催期間の各日、職員や地区まちづくり協議会の方、まちづくりマイスターがスタッフとして滞在し、来場者にパネルの内容を説明、意見交換できる時間帯を設けた。
- ◆結 果： スタッフが対応していた時間帯には、期間中約85の方が来場され、地区まちづくり協議会の活動・交通・防災のことなど、来場者の方とまちづくりについて意見交換ができた。



(参考)令和7年度

▶開催日： 10月21日から10月24日 ▶来場者： 約108人

2. まち協交流会

他の地区まちづくり協議会の方と交流し、お互いの活動を知ることによって今後の取組みの参考にしてもらうことを目的に開催。

- ◆開催日： 令和6年12月4日
- ◆参加者： 市内6つの地区まちづくり協議会から参加
- ◆内 容： 地区まちづくり協議会の現状と活動状況や今後の取組みについて発表。また、共通して抱える課題について意見交換を行う。
- ◆結 果： 地区まちづくり協議会間でまちづくり情報と課題の共有ができた。



(参考)令和7年度

▶開催日： 11月28日 ▶参加者： 5つの協議会

3. その他の支援

- ・地区まちづくり協議会内で新築等の工事が予定されている際には、関係部局から得た情報を協議会に伝達する。
- ・地区まちづくり計画を策定している地域についての問い合わせなどに対しては、窓口で協議会およびその活動内容を周知する。
- ・イベント開催に係る相談・問い合わせについて、京都府や市担当課に確認し、相談窓口を紹介する。

(参考)令和7年度

- ・庁内に地区まちづくり協議会内での事業の計画の立案及び実施時の都市計画課への事前連絡を依頼し、得た情報を協議会に伝達する。
- ・まちづくり協議会主催イベントに対して後援を行う。

4. まちづくり活動の課題

- ・多くの地区まちづくり協議会が、活動への参加者が少ないこと、役員等の高齢化に伴う後継者不足を課題としている。
 - 一部の活動(役割)を他の団体に引き継ぐことで、活動を縮小している協議会もある。